

(別添資料1)

事業所名

えぶりい

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

22 日

法人 (事業所) 理念		私たちは、社会人として世の中に貢献し、 私たち自身と、私たちが縁する全ての人たちのしあわせの実現を、めざします。					
支援方針		子供たちが自立し、自分自身の未来を輝かせるためのサポートを行います。 ・基礎的な生活動作や、将来の自立に向けて必要な習慣の「習得支援」。 ・ご家族が安心できる、こころ休まる時間を提供。 ・一人ひとりの学力や状況に応じた個別の「学習支援」。 ・遊びや様々な活動を通して、ご家族以外との「人間関係構築支援」。					
営業時間		9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・充実感を持ち、やりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動できるようにしていきます。 ・衣服の着脱、身の回りの整理整頓、玩具など共有物の後始末など、基本的な生活習慣を身に付け自立していきます。					
	運動・感覚	・「体のバランスをとる動き」立つ、座る、寝ころぶ、起きる、転がる、ぶら下がる、渡るなど。「体を移動する動き」歩く、走る、跳ぶ、登る、下りる、よける、すべる、這うなど。 「用具などを操作する動き」持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど。易しい動きから難しい動きへ、一つの動きから類似した動きへと、多様な動きを獲得し、基本的な動きの運動を経験しながら、動きの洗練化をしていきます。					
	認知・行動	・遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ経験や役割に気付き、活用し、興味や関心、感覚を持てるようにしていきます。 ・様々な経験や出来事などに触れて感性を働かせ、素材や表現の仕方に気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、他者と共有する過程を楽しみ、表現する喜びを味わったり、					
	言語 コミュニケーション	・大人や友達と過ごす中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなど言葉で伝えたり、相手の話しを注意して聞いたり、言葉での伝え合いを楽しめるようにしていきます。 ・自分の考えや思いを言葉で伝える経験を通し、困った時に言葉で援助要請ができるように繋げていきます。					
	人間関係 社会性	・他者と様々な経験を重ねる中で、して良いことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動ができるようにしていきます。 ・決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、他者との折り合いを付けながら、決まりを作ったり、守ったりできるようにしていきます。					
家族支援		・事業所で行っている支援方法をご家庭でも実践できるように声掛けの方法や、関わり方などを送迎時、面談時に具体的にお伝えする。 ・普段の様子、変化のあった個所などを通所の都度、保護者様に共有する。		移行支援		・定期的に学校(幼稚園・保育園)と情報共有し、役割分担について等協議する。 ・必要に応じ、学校(幼稚園・保育園)を訪問し、児童との関わり方を共有する。	
地域支援・地域連携		・地域の園、学校、福祉と連携し、各家庭の情報を共有し、家庭支援を丁寧に行っている。 ・関係機関と定期的に連携会議を開催し、情報共有と役割分担について協議する。		職員の質の向上		・入社時の本部研修実施、その後現場にて本部職員によるフォローアップ研修実施。 ・毎月事業所でのMT ・1か月に1回以上の事業所内研修実施。	
主な行事等		季節の催し・土曜日、祝日、長期休暇中にイベント実施 (毎月の製作、避難訓練、サイエンスSTUDY.遠足、製作イベント、親子イベントなど)					